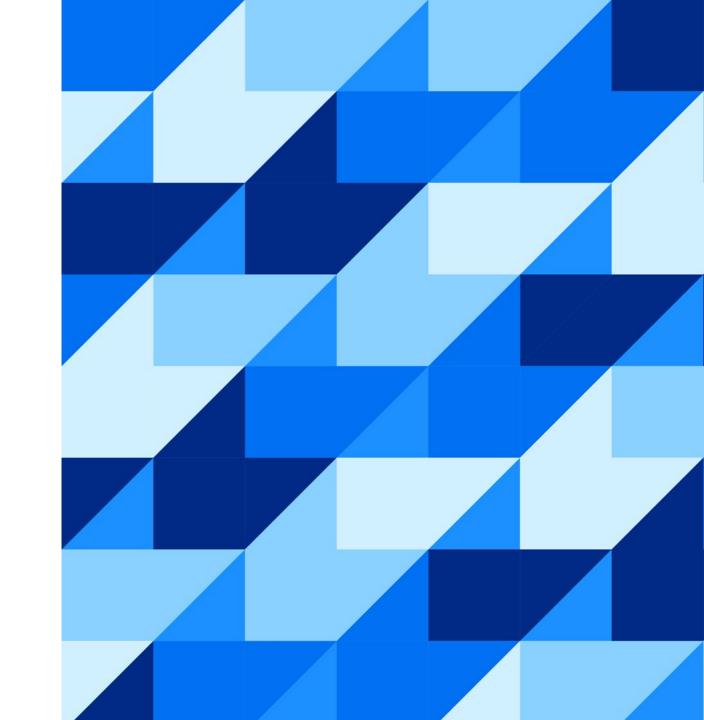


SAP SQL Anywhere ライセンス

Public



SAP SQL Anywhere SAP 価格

- 2種のエディション (2015年Q4~)

Material #	製品/ライセンス名称	カウント 単位	込	価格	最少 注文数	
7018416	SAP SQL Anywhere, Advanced Edition (user)	ユーザー	25	1,920,000円	1	
7018361	SAP SQL Anywhere, Advanced Edition (core)	物理コア	1	312,000円	4	基本
7018417	SAP SQL Anywhere workgroup, Edge Edition (user)	ユーザー	5	153,600円	1	パッケージ
7018359	SAP SQL Anywhere workgroup, Edge Edition (core)	物理コア	1	162,000円	4	
7018360	SAP SQL Anywhere, Database and Sync Client	デバイス	1	31,200	1	追加 ライセンス

SQL Anywhereは使用するコア数を指定できるため、マシンの物理コア分購入する必要はありません。

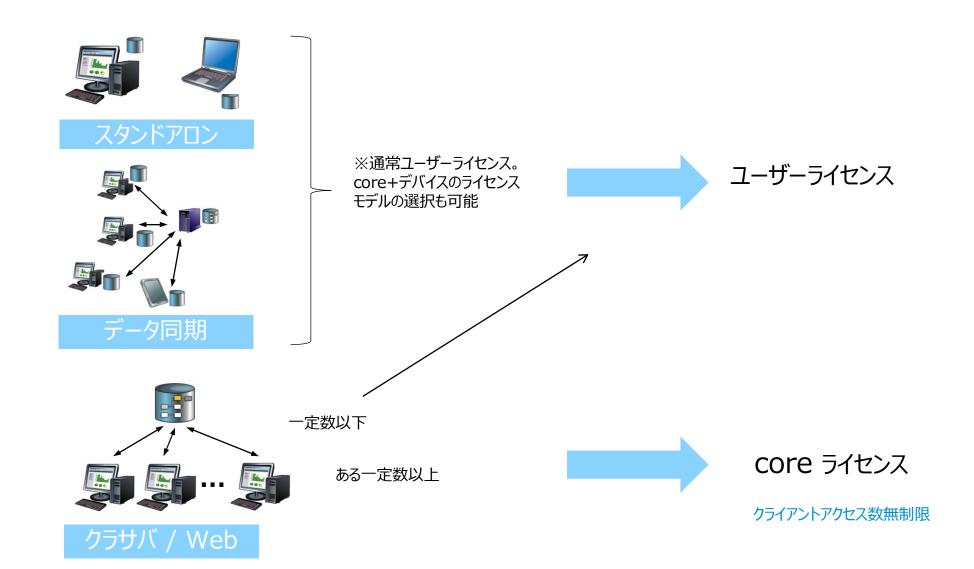
- ・ 2つのEditionがあります。それぞれのEditionの違いは、最大使用可能コア数と、対応OS、大規模システム向けの機能等です。
- ・ Webまたはクラサバの形で使用する場合は、それぞれに、ユーザー数をカウントするユーザーライセンスモデルと、サーバー側の物理コア数をカウントするコアライセンスのモデル(ユーザー無制限)の2通りがあります。
- ・ クライアント側にデータベースを搭載し、サーバーDBとデータ同期する形で使用する場合には、ユーザー数をカウントするユーザーライセンスモデルと、サーバー側の物理コア 数とクライアント側の台数をカウントするコア&デバイスのライセンスモデルがあります。スタンドアロンで使用する場合も、同様に2通りあります。
- ・ Database and Sync Client は、各DB間のデータ同期をする場合のコア&デバイスライセンスモデルのクライアント側ライセンスです。スタンドアロンで使用する場合も同様です。(クライアント側データベースは、SQL AnywhereまたはUltra Lightのどちらかになります。) 事前にコアベースのxx Edition (7018361、7018359) を購入していない場合にはこのライセンスは購入できません。

SAP SQL AnywhereのEdition 選択のポイント

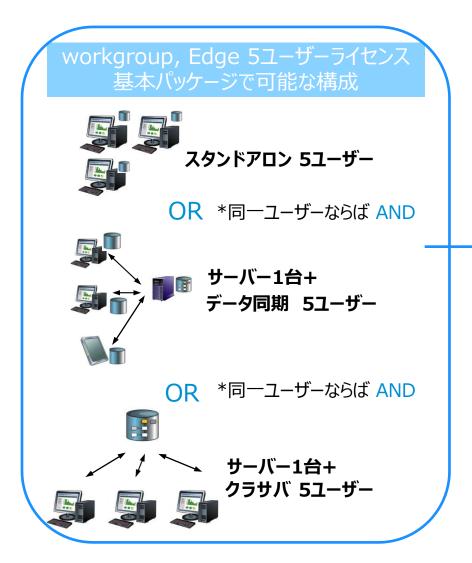
	Workgroup, Edge (旧Workgroup)		(Standard はなくなりました)		Advanced	
SQL Anywhere サーバ 最大使用可能Core数	8				無制限	
SAP SQL Anywhere サーバ 対応OS	Windows Linux Mac OS(英語版)		Windows Linux Mac OS(英語版) Unix (英語版)		Windows Linux Mac OS(英語版) Unix (英語版)	
Material Number	7018417	7018359			7018416	7018361
	5ユーザ パッケージ	1Core パッケージ	5ユーザ パケージ	1 Chip パッケージ	25ユーザ パッケージ	1 Core パッケージ
SQL Anywhere サーバ	0	0	0	0	0	0
SQL Anywhere クライアント	○ (5ユーザ)	無制限			○ (25ユーザ)	無制限
SQL Anywhereパーソナル・サーバ Mobile Linkサーバ Mobile Linkクライアント Ultra Light	○ (5ユーザ)	Mobile Linkサーバーは 含まれる* ×			○ (25ユーザ)	Mobile Linkサーバーは 含まれる* ×
高可用性	×	×	0	0	0	0
読み込み専用スケールアウト	×	×	×	×	0	0
インメモリモード	×	×	×	×	0	0
FIPS 暗号化	×	×	×	×	0	0
RSA 暗号化	0	0	0	\bigcirc	0	0
モニタリングツール (実運用環境での使用)	×	×	0	0	0	0
モニタリングツール (開発とテスト環境での使用)	0	0	0	0	0	0

コア?使用OS? 高可用性必要?

ユーザーライセンス or Core ライセンス?



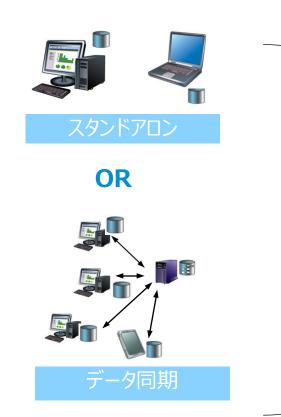
基本パッケージ (xx Editionという名前のもの)



5ユーザー以上必要な場合には、 また基本パッケージを購入

- ※ 2015年Q4より変更。以前は1ユーザーごと追加可能。 今後はworkgroup, Edge Editionでれば5ユーザー単位、 Advanced Editionであれば25ユーザー単位
- ※ SQL Anywhere サーバーまたはMobile Link サーバーを1台追加する場合も、xx Edition を追加購入してください。
- ※ 基本パッケージには、3階層で使用される場合のSQL Anywhere サーバーとともに使用するMobile Linkクライアントも含まれます。

プタナデアロイをはデスタ同期であってある場合に選択可能なうなで?スモデル:



指名ユーザーライセンス

サーバー側は台数をカウント、クライアント側は使用する人数をカウント

クライアント側ユーザーは一人が何台使用しても良い

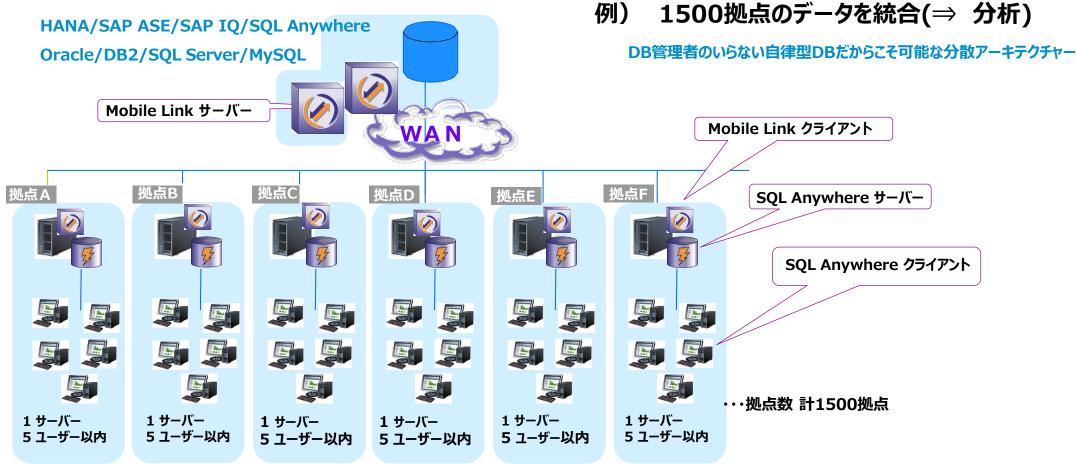
core + デバイスライセンス

サーバー側はコア数をカウント。クライアント側は端末数をカウント

スタンドアロンPCまたはデータ同期クライアント端末 1台を何人で使用しても良い。

不特定多数の人が利用する端末での利用に適する

SAP SQL Anywhere コンポーネントとライセンスおよび価格について



(1)各拠点に必要なライセンスは「xxx Edition」に含まれるライセンスでカバー可能 (2) Mobile Linkサーバー毎に「xx Edition」が必要

(3) SQL Anywhere サーバーとMobile Link サーバーは「xx Edition」でカバー可能 (4) 同期の負荷分散のためMobile Link サーバーは2台必要

7018417 SAP SQL Anywhere workgroup, Edge Edition 5users ¥153,600円 x 1,502

各拠点毎のユーザー数が5を超える場合には、さらに基本パッケージを購入

SAP SQL Anywhere 製品概要

主な機能:サーバー

自己管理機能

- キャッシュサイズの自動チューニング
- マルチプログラミングレベルの自動チューニング
- 動的に適応するクエリプラン
- 共通する多くのタスクを自動化する開発者用機能
- 統計情報の自動メンテナンスと自動ヒーリング

埋め込みが可能

- 一時ファイルに仮想化された構造を持つキャッシュメモリを割り当て
- マシンの全リソースを占有しない Good corporate citizen 善良な市民)

ポータブルなファイル

単純なファイルコピーでデータベースを移動可能

柔軟なコンカレンシー

- ANSI 0~3 分離レベルでの標準ローレベルロック
- 3つのレベルのスナップショットアイソレーション (MVCC)

データベースとテーブルレベルの暗号化、通信プロトコル暗 号化

大文字/小文字区別ありデータに対するz大文字/小文字 区別なし検索のサポート カラムの圧縮 計算されたカラム ジョブのスケジューリングとイベントモニター

主な機能:サーバー

豊富な SQL クエリのサポート

- クエリ間の並列処理によるOLTP と OLAP
- 再帰 UNION、共通テーブル式
- MERGE 命令、WINDOW クエリ、テーブル関数、 SEQUENCE をサポート

データタイプをフルサポート

- 標準タイプ
- 完全な空間エンジンによる空間データタイプ
- 全文検索: 述語、ワイルドカード、類似検索を含む
- OPENXMLを介したXPATH クエリによるXML タイプ
- ROW および ARRAY タイプ

マテリアライズドビュー

- オンデマンドリフレッシュと即時リフレッシュの両方
- SPOJG ビューにわたる公判で効率的なビューマッチングアルゴリズム

SQL ストアドプロシージャとトリガ

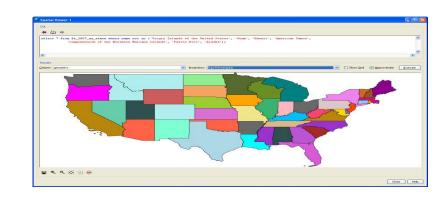
2 つの方言: Transact-SQL と Watcom SQL (ISO SQL 規格に基づく)

外部環境プロシージャ

 Java, .NET (共通言語ランタイム)、PHP、 C/C++

リモートデータアクセス (CIS) – SAP IQ とシェア

- SAP ASE に類似の実装 プロキシテーブル、機 能補償
- クエリエンジンのフェデレーション



主な機能:サーバー

HTTP サーバーを統合

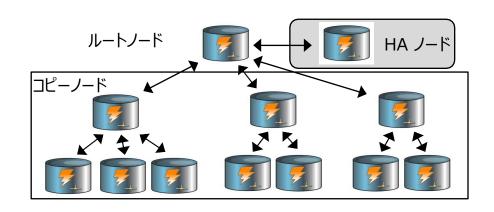
- SAP SQL Anywhere から直接Webサービスに対応
- 自己完結型のリモートWebアプリケーションのデ プロイメントが可能
- - 挿入、更新、削除、etc.などを含むトランザクションログ

データベースミラーリングによるHA および読み込み専用スケールアウト

- ログシッピングベース
- インメモリモード
 - パーシスタンス、トランザクションログなし

ドイツ語、フランス語、日本語、中国語へローカライズ
・ さらにディプロイメントに関しては9言語へのローカライズ
インデックスコンサルタントやプロファイリングツールなどの
ツールのスイート

Visual Studio との統合



主な機能:同期

Mobile Link サーバ

- 異種のバックエンドデータベースシステムへの双方向データレプリケーション
- 何万クライアントにも拡張
- サポートされる統合 DBMS: ASE、IQ、 Oracle
 、DB2、Microsoft SQL Server、 MySQL
 、HANA
- リモート側に SQL Anywhere または Ultra Light
- システム全体にわたるトランザクションの整合性
- 柔軟な変更ベースの差分同期

セキュリティ

- 256 ビットの暗号化による end-to-end のセキュリティ

Ultra Light

- ハンドヘルドやスマートフォンなど、リソースに制約のある プラットフォーム向けのインプロセスデータベース
- 標準 SQL 言語
- ビルドインの同期クライアント:変更のトラッキング、ネットワーク管理
- 256 ビットの暗号化によるエンドツーエンドのセキュリティ
- 対応プラットフォーム: Windows Mobile、 BlackBerry、iOS、Android

(注)日本のみ商標登録の関係でMobile Link、Ultra Light。 日本以外ではそれぞれMobiLink、UltraLite

Mobile Linkのデータ同期で実現する業務イメージ

